

施政方針にみる 新年度の主要施策と予算のあらまし

市民との協働
近年、市民の市政への関心が高くなっている中、市民と行政だけでなく、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりについても推進していく必要があります。
このため、市政のあらゆる分野において、個人情報保護条例や情報公開条例の適正な運用に努めるとともに、様々な情報媒体を有効に活用しながら、市民と行政が情報を共有し、パブリックコメント制度、審議会等の委員の市民公募など、市民参加の機会を引き続き設けます。
行政情報の提供については、広報あこう、ホームページ及び早かごセミナーなどを積極的に活用し、広報機能の充実に努めるほか、開かれた市政を推進するため、私や職員が率先して地域に向いて、直接市民の皆様からの意見を聴く機会や場を設けます。
男女共同参画社会づくりについては、男女共同参画

学校、赤穂中学校に太陽光パネルを設置します。
さらに、デジタル教材等を活用した新たな授業を展開するため、小学校に続き、中学校の教室にデジタルテレビを設置します。
生涯学習・スポーツ活動の推進
中央公民館や各地区公民館を拠点として、体系的な生涯学習の場を提供するため、子ども教室などの各種講座を引き続き開催するほか、シニア世代の知識と経験を活用するため、新たにリーダー登録制度を設け、多様化する市民ニーズに応えます。また、耐震診断結果を受けて、市民会館耐震対策補強工事に向けて実施設計を行うほか、尾崎公民館耐震対策補強工事などを実施します。
子育て学習活動推進事業については、指導員を増員して、子育て悩み相談や子育てグループの育成を図るほか、各地区公民館での子育て出前講座を継続実施します。

社会づくり条例や第2次男女共同参画プランに基づき、全庁的な取組を総合的に展開します。
多様なコミュニティ活動の活性化
まちづくり活動の推進については、それぞれの地域の個性を生かした、「地区まちづくりビジョン」の実現に向けて、各地区での自発的なまちづくり活動を引き続き支援します。
健全で効率的な行財政運営
地方自治体を取り巻く環境が大きく変化する中で、多様化、高度化し、増大する市民ニーズを的確に把握し、果敢にチャレンジする行動力を身に付け、地域の諸課題を解決することが行政に求められています。
そのためには、職員一人ひとりが危機管理能力やコスト意識と経営感覚を身に付け、市民の皆様に質の高いサービスを提供していかねければなりません。
このため、職員の能力と

図書館については、子ども読書活動推進計画に基づき、絵本講座、ブックスタートル事業などの読書活動事業を引き続き実施し、子どもの読書環境の整備に努めるほか、ブック宅配サービスの継続実施や電子書籍の充実を図ります。なお、安全・安心な読書環境の整備として、新たに図書落下防止の対策を講じます。
スポーツ活動の推進については、スポーツ都市宣言を契機に、新たに整備されたスポーツ・レクリエーション施設をはじめ、恵まれたスポーツ環境を最大限に生かしながら、スポーツ推進計画に基づく事業を効率的・効果的に実施し、スポーツ先進都市の実現を目指したスポーツ活動の場と機会の充実に努めます。
生涯スポーツの推進については、体育協会、関係スポーツ団体の協力を得て、市民総合体育祭や各種スポーツ大会、スポーツ教室の開催などを支援するほか、地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及に

努めます。
また、スポーツの振興と交流機会の拡大を図るため、市長旗争奪少年野球大会を引き続き開催するほか、忠臣蔵旗少年剣道大会や赤穂義士杯青少年柔道大会などを継続実施するとともに、第5回赤穂シテイマラソン大会や坂越湾ヨットレース、義士旗争奪ゲートボール大会などの広域大会を開催して、赤穂の魅力と活気あふれる忠臣蔵のふるさと播州赤穂を全国に発信するとともに、スポーツによる元気なまちづくりを推進します。
さらに、市民総合体育館などの施設整備を実施するとともに、新たに地区体育



館9館の非構造部材耐震化に係る調査及び市民総合体育館の耐震診断などを行います。
個性ある地域文化の創造
歴史資源の保全・整備については、文化財保存整備事業として、引き続き赤穂城跡の二之丸石垣の整備などを行うほか、史跡土地買上げとして、指定地内民有地の取得を進めます。
文化財の保存活用については、埋蔵文化財の発掘調査や地域文化財調査、文化財顕彰事業のほか、有年考古館において引き続き特別展や企画展を開催するなど、積極的な公開と活用を努めます。
芸術文化活動の拠点施設としての文化会館は、市民の多様なニーズに応え、広く利用され交流の場となるよう運営に努めます。鑑賞事業としては、MAY J. スプリングツァー2015、松竹大歌舞伎などを開催します。市民参加型事業としては、フェス

タ・アルモニカ・イン・アコウや、ぶらっとフラットコンサートなどを実施するほか、ヴァイオリンアンサンブル教室や吹奏楽教室を引き続き開催します。
また、文化団体と連携しながら市民文化祭や美術展、観月会などを開催するほか、児童合唱団、勤労者芸術文化振興事業などの市民の芸術文化活動に支援を行います。
**第5の柱
市民と行政が
ともに歩む
まちづくり**



市民と行政がともに歩むまち ★印=新規(拡充)事業(1万円未満四捨五入)

市民との協働を推進する

- ①開かれた市政を推進する
 - ・高等教育機関連携推進事業 ……20万円
- ②市民と行政の情報共有を進める
 - ★広報の充実 ……1,202万円
 - ▷市政ニュース発行経費外
 - ・情報公開・個人情報保護推進経費 ……54万円
 - ・ホームページ運営経費 ……378万円
 - ・窓口発ふるさと赤穂PR事業 ……20万円
- ③男女共同参画社会を築く
 - ・男女共同参画社会づくり推進事業 ……208万円

多様なコミュニティ活動を活性化

- ①多様なコミュニティ活動を活性化
 - ・まちづくり振興協会補助金 ……2,680万円
 - ・地区まちづくり支援事業 ……778万円
 - ・集会施設設置事業 ……1,367万円
 - ・コミュニティセンター等整備事業 ……85万円

健全で効率的な行財政運営を行う

- ①健全で効率的な行財政運営を行う
 - ・高度情報化推進事業 ……[再掲1億2,100万円]
 - ・事務改善経費 ……[再掲2,350万円]

- ・戸籍事務電算化事業 ……[再掲5,425円]
- ・市例規集情報化推進事業 ……[再掲970万円]
- ・情報基盤整備事業 ……[再掲4,532万円]
- ・固定資産評価資料作成事業 ……1,600万円
- ・徴収対策事業 ……1,095万円
- ・入札事務改善経費 ……154万円
- ・行政評価推進事業 ……34万円
- ★ふるさとづくり寄付金推進事業 ……124万円
 - ▷ふるさとづくり寄付金特産品外
- ★公共施設等総合管理計画策定事業 ……1,700万円
 - ▷固定資産台帳システム導入経費外
- ★総合計画(基本計画)見直し事業 ……590万円
 - ▷基本計画見直し検討委員会開催経費外
- ★地方版総合戦略策定事業 ……1,000万円
 - ▷総合戦略策定経費
- ★兵庫県議会議員選挙 ……1,440万円
 - ▷平成27年6月10日 任期満了

業績を重視した人事評価制度の平成28年度導入に向け、職員研修等を行い人材育成に努めます。
また、社会経済の変化や新たな行政課題に的確に対応するため、総合計画の基本計画について見直しを行います。
さらに、「まち・ひと・しごと」の創生に向け、今後5力年の地方版総合戦略を

策定し、地方創生を推進します。
今後においても、厳しい行財政環境が続くことが予測されますが、市民の皆様と協働して「元気で魅力あふれるまち」を目指して全力を尽くしてまいりますので、格段のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

